

大切な人を亡くした人のための「喪失の癒しとアート」

言葉にできない気持ちを、クレヨンや絵の具を使って表現してみませんか？
大人も子どもも、親子でも、一人でも大歓迎です。

日時：2010年2月7日（日）①親子の部 10:00～12:00 ②大人の部 14:00～16:00
※内容が異なりますので、①は親子でのご参加、②は大人の方のみのご参加とさせていただきます。

場所：龍谷大学 深草学舎 21号館 402教室（京阪「深草」駅から徒歩3分）
京都市伏見区深草塚本町67
http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_fukakusa.html

講師：藤井昌子氏（色彩楽園 主宰）

参加費無料

参加対象者：大切な人を亡くした方（小学3年生以上から大人まで）。

「寂しい」「苦しい」「どうして？」など、心に積もった気持ちを色や形で表現してみませんか？
家族の中で亡くした人は同じでも、立場によって表現の仕方が違ったり、お互いを思いやり過ぎて、十分に話せなかったり。親子でなかなか話せない喪失の想いを、絵を通じて語り合いたいでしょう。言葉にできない気持ちも、クレヨンや絵の具を使ってなら表現できるかもしれません。
大人も子どもも、親子でも、一人でも大歓迎です。
ぬりたい色を思いきりぬることはおしゃべりすること。色や形でのおしゃべりは言葉にできない気持ちを表すことができます。「絵は苦手」と思っている方も、手軽に楽しめる「色のおしゃべり」にぜひお越し下さい。

※画材の準備の都合上、事前にお申し込み下さい。

●申し込み方法●

TEL、FAX、E-mail いづれかにて、お名前、ご連絡先、参加人数、参加の部（親子、大人）をお知らせ下さい。

問い合わせ・申し込み先：龍谷大学人間・科学・宗教総合研究センター

- ・TEL: 075 (645) 2154 ※9:00～17:00 にお願ひします。
- ・FAX: 075 (645) 8447
- ・E-mail: kurokawa@human.ryukoku.ac.jp

●●●●藤井昌子氏プロフィール●●●●

自由な表現・創造活動を通して心を解放し、個性を活かし、能力を伸ばすことを目的とした色彩楽園を主宰する。阪神大震災直後は子どもの心のケアのための出張アトリエボランティア活動を行い、現在も「あおぞら色彩楽園」として継続中。

西宮 YMCA アトリエクラス主任講師。日本児童青年精神医学会、日本描画テスト・描画療学会、日本芸術療学会員。著書に「野外・探検遊びをしよう」（共著/明治図書）、「子どもが心をひらくとき」（エピック）、「小さなクレヨン詩人たち」（共著/エピック）。

主催：遺族会「ミトラ」 龍谷大学創立370周年学術企画